

JAとりで通信

第342号

2019年3月26日



発行 JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1
TEL 0297(74)5551 (代)

E-mail: toride@medical.email.ne.jp
URL: http://www.toride-medical.or.jp/

発行人 新谷 周三

採血・採尿検査の受付方法を変更

現在朝8時30分まで、採血・採尿の受付用として赤い「番号札」をご使用頂いていますが、6月1日(土)から「整理券」に変わります。次の手順で受付して頂くようお願い致します。

6月1日
から

受付の手順

- 1 階の再来機で受付を済ませてください。
発行された**受付票**に「採血/採尿」、「採血あり」、「採尿あり」と書かれている場合は、2階の採血・採尿受付に行ってください。

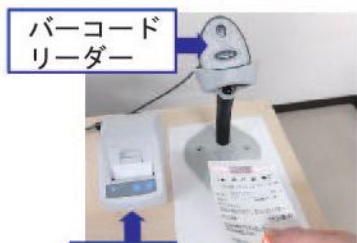


再来機



受付票

- 2 受付票をバーコードリーダーの下にかざすと、発券機から「**採血・採尿整理券**」が発行されます。
発券機は午前7時30分から稼働します。



発券機



受付票をかざす

採血・採尿整理券

- 3 午前8時から採血・採尿受付の窓口で受付を開始します。
「**採血・採尿整理券**」を窓口**に提出**してください。

3月1日(金) 当院の防災訓練が行われ、新たな訓練としてBCP訓練を行いました。BCPとは「事業継続計画」のことです。防災が人命や設備などに対する被害を防ぐ点に重点を置いているのに対し、

BCP訓練と 消火訓練等を実施



講義をする菊地臨床工学技士



消火器による消火訓練の様子



消火栓による消火訓練の様子

BCPは業務の継続や早期復旧に重点を置いている点

に違いがあります。病院の場合、災害時にどのようにしたら入院患者さんや傷病患者さんの診療を継続できるのか、BCPを作成し訓練を行いながら見直していくことが必要です。

BCP訓練の前半は、DMAT(災害派遣医療チーム)の隊員でもあり、当院のBCPを作成した担当者1人である菊地浩之臨床工学技士が、災害対策委員を対象にBCPについて講義し、後半は机上訓練も行いました。

取手消防署と東武防災株式会社にご協力していただき、消火栓、消化器による消火訓練、また垂直式救助袋による救助訓練なども行われ、看護師や技士、警備員等約50名が参加しました。最後に災害対策委員長で整形外科の鈴木部長が「当院は災害拠点病院でもあるので今後も防災対策をより強化していきましょう」と呼びかけました。

4回に分けて日中と夜間の避難訓練を実施し、合計110名の患者さんが参加しました。地震発生後に下の階で火災が発生したという想定で、スタッフはアクションカードの項目に沿って室内を点検し、患者さんに慌てないよう大きな声で呼び掛けていました。「火災のため避難します」と放送が流れると、血液透析装置から患者さんを順番に切り離していき、患者さんはタオルを口に当てながら避難場所に向かいました。

※災害拠点病院

災害時に、初期の救急医療体制を充実させるための医療機関です。要件として、24時間、災害に対する救急対応が可能で、傷病者の受け入れが可能であることや、ヘリポートや救急車両を有し医療チームを派遣できることなどがありません。茨城県では14の医療機関が登録されています。(平成31年1月現在)

透析患者さんにも 協力していただき 避難訓練を実施

腎センターでは透析患者さんとの避難訓練を毎年実施しており、今年は2月に

避難終了後には、患者さんへ避難時の注意点を黒澤臨床工学技士が説明し、透析患者さんの非常食についても川下管理栄養士がサンプルを示しながら説明しました。



腎センターの避難訓練の様子

骨粗鬆症と骨折予防(6)

骨粗鬆症の予防

整形外科部長
鈴木 康司



BMIをチェック
しましょう

骨粗鬆症の予防は年齢によって異なります。

若年者では生活習慣、特に食習慣と運動習慣が大切です。若年期に高い骨密度を獲得しておく、骨粗鬆症の発症予防に効果的です。若年女性のやせは後になって骨粗鬆症の発症に関連します。ダイエット目的の偏った食生活は若年者ではよくありません。運動習慣も中学・高校時代にクラブ活動をしてきたかたは骨粗鬆症になりにくくなります。

中高年ではやせも太りすぎもよくなく適正体重の維持が大切です。やせすぎのかたは肥満のかたより骨粗鬆になりやすいです。ご自身のBMI（Body Mass Index）

Index）（体重kgを身長mで2回、割った値で、22kg/m²が適正）をチェックしてみてください。

自分のペースで 歩行運動を

運動については「歩行」を中心とした運動が勧められます。早歩きできる方が寿命も延びるとの最近の報告もあります。ご自身のペースでよいと考えられます。また足腰に痛みがあるときに我慢して、硬いアスファルトの地面を歩くことはお勧めしません。

喫煙と過度の飲酒は骨折リスクを高めます。タバコは百害あつて一利なしです。

転倒予防も大切です。ビタミンD不足だと転倒しやすくなるという報告があります。転倒予防には筋力増強訓練やバランス訓練などの運動介入があります。骨折リスクの高いかたではヒッププロテクターという器具も大腿骨近位部骨折予防に効果があります。

本日のポイント

骨粗鬆症予防は年齢によって異なります。
適正な体重維持と適度な運動をお勧めします。



安全キャビネットの中で混注する薬剤師



看護師と一緒に確認している様子



混注室の職員（右から2番目が田澤さん）

今回は、抗がん剤や高カロリー輸液の調剤業務を行っている薬剤部の「混注室」をご紹介します。当院の混注室は12、13年位前から本格的にスタートし、抗がん剤の混注室と高カロリー輸液の混注室に分かれています。「混注室」責任者の薬剤師、田澤匡さんにお話を伺いました。

職場紹介

薬剤部 混注室

方法が書かれています。調製する前に計算シートを作成し、別の薬剤師が必ず確認します。翌日その計算シートにそって抗がん剤を混注し、払い出す際には看護師にも一緒に確認してもらっています。

抗がん剤の混注室には安全キャビネットと呼ばれる機器が設置されています。安全キャビネット内で作業することで、患者さんへ細菌汚染のない薬剤を提供するとともに、作業にあたる薬剤師の被曝（飛び散るなどした抗がん剤を浴びること）を防いでいます。

投与を始める際には、混注室の薬剤師が説明させていただきます。投与スケジュールや投与終了後のことなど、できるだけ外來の化学療法について分かりやすくお話しするように心がけています。

何か抗がん剤についての疑問や質問等がありましたら、お気軽に看護師を通して混注室の薬剤師を呼んでいただければと思います。

私たち混注室の薬剤師は、抗がん剤という特別な薬剤の混注を任されています。それだけ医師からも看護師からも信頼され、安全な化学療法を支えているという自覚がモチベーションに繋がっていると思います。

主に午前中は抗がん剤の混注室で、午後は高カロリー輸液の混注室での業務が多いとのこと。混注室のみならず、これから安全な薬剤を患者さんに提供するため、田澤さん有難うございました。

開院日と休診のお知らせ

4月29日・30日は診療いたします

ゴールデンウィーク（4月27日～5月6日）の期間中、4月29日（月）と4月30日（火）は通常通り外來診療を行います。なお、救急外來は、通常の夜間、休日と同様にゴールデンウィーク中も運営致します。

第5土曜日は休診となります

2019年度から第5土曜日を休診とさせていただきます。今年度は、6月29日（土）、8月31日（土）、11月30日（土）、来年2月29日（土）が休診となります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

人の動き

【採用（2月）】
トーマス 京子 看護部
後藤 みゆき 看護部

浦邊 風見 看護部
千春 由佳 看護部
医事課

2019年度 JA 共済連と JA 厚生連による健康推進プロジェクト

人間ドックくらしの活動助成

2019年4月1日～2020年3月31日

昨年度に続き、2019年度も基本料金の助成が実施されます。どなたでも助成を受けて人間ドックを受診でき、自治体の助成制度を利用されると下記の金額になります。表は、取手市の国民健康保険加入者（40歳以上）の方の場合です。なお、事前予約が必要です。また、受診後のご利用はできません。（8%税込）

（単位：円）	基本料金	助成後の料金	取手市の方
日帰りドック	41,040	31,040	6,540
脳ドック	43,200	38,200	3,200
日帰りドック+脳MRI	73,440	58,440	33,940
日帰りドック+肺CT	58,540	43,540	19,040